

# 国語科学習指導案

指導者：呉市立白岳小学校 吉原 知美

- 1 日 時 平成25年12月13日（金）
- 2 学 年 第3学年2組（男子17人，女子19人 計36人）
- 3 単元名 みんなで話し合おう

～動画を活用し、学級会に向けて「話し合い名人への手引き」を作ろう～

## 1 単 元 観

本単元は小学校学習指導要領第3学年及び第4学年「A話すこと・聞くこと」の「オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。」を受けて設定している。

本単元は、言語活動例「イ 学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。」を通して、互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、目的に応じて話し合う力を高めることを主なねらいとしている。具体的には、動画を活用し、話し合いの仕方をまとめるといった言語活動を通して、司会や提案などの役割を理解し、その役割を全員が経験しながら自分と他者の考えの共通点や相違点を整理して話す力を高めることができるようにする。中学年の発達段階では意見の羅列で終始してしまう場合が多いため、司会を立てた話し合い活動を行うことは、みんなで協力して意見をまとめるための話し合いの仕方を学ぶことに有効であると考えられる。

## 2 児 童 観

本単元で付けたい力に関わるプレテスト及び事前アンケートを実施したところ、結果は以下のようになった。

プレテストの内容	正答した人数（36人中）
問一 「司会の役割を問う問題」	9人
問二 「司会の進め方の良さを捉えて記述する問題」	5人

事前アンケート（司会の役割についての記述）	「分からない」と回答した人数（36人中）
話し合いの司会はどんなことをする人ですか。	13人

児童はこれまでも学級会等で、学級全体で話し合う活動は経験している。これまでの話し合いを振り返って確認した課題は、「意見を集めること」「意見をまとめること」等、みんなで協力して一つの意見にまとめていく話し合いを進行することに課題があるといえる。

また、全国学力・学習状況調査の過去4年間の調査結果から、話し合うことに関する指導事項に関わって、「話し合いにおける司会の役割や参加する側としての立場、考えの根拠などを明確にしながら、話し合いを計画的に進めること」に課題があることから、先述の課題は全国的な課題であるといえる。

### 3 指導規

指導に当たっては、以下の点について留意し、指導を行うものとする。

- ・ 話し合いにおける役割を知らない児童にとって、司会などの役割を全員が経験して話し合いを行う学習は初めての経験となる。そこで、各役割についての理解や話し合いの仕方を学習する際に動画を活用する。授業で活用する動画は、作成した「話し合いのモデル」及び授業で録画した「自分たちの話し合いの様子」の2種類とし、主に役割を理解する際に「話し合いのモデル」を活用し、モニタリングして評価し合う際に「自分のたちの話し合いの様子」を活用する。
- ・ 司会の発言によって話し合いの流れが変わることに気付かせるために、動画の「役割を果たしていない例」を視聴させる際、「話し合いの目的からそれる」「出た意見の共通点と相違点を整理してまとめる」場面において、司会の発言を考えさせるようにする。
- ・ 自分たちの話し合いの様子をモニタリングさせる場合には、これまでの児童の話し合いにおける課題を克服できるように、教師がその課題を意識して焦点化した場面を提示する。

### 4 単元の目標と評価規準

#### 単元の目標

- 共通点や相違点を考えながら、役割を分担して話し合いが一つの意見にまとまるように話し合おうとすることができる。 【国語への関心・意欲・態度】
- 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行にそって話し合おうとすることができる。 【話すこと・聞くこと オ】
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付き、話し合いの中で適切な言葉で話すことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ア)】

#### 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
単元を貫く言語活動 「話し合い名人への手引きを作ろう」		
言語活動例 「イ 学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること」		
司会を立てて話し合うことに意欲をもち、役割を分担しながら、問題解決に向けて協力して話し合おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いにおける役割や、会議の話し合いの仕方を理解している。</li> <li>・ 司会者や提案者、参加者などの役割に応じ、話し合いの目的や方向性を捉えて、互いの考えの共通点や相違点を整理して進行に沿って話し合っている。</li> </ul>	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付き、話し合いの中で適切な言葉で話している。

## 5 単元を貫く言語活動の特徴

「話し合い名人への手引き」を作るという単元を貫く言語活動を設定し、単元終了後の学級会での話し合いに活用させる。まず、動画教材の話し合いのモデルを基に、発言の目的と対応した司会の発言を探し、学級全体で確認したことを「話し合い進行表」に整理する。これを話し合いの練習や単元終了後の学級会で活用する。また、動画を見たり、役割を経験したりして気付いたことを出し合い、学級全体で確認した後「話し合いの手引き」に役割ごとに大切なことをまとめ、学習の最後に、「話し合い進行表」と合わせて「話し合い名人への手引き」とし、今後の話し合い活動に活用できるようにする。

## 6 指導と評価の計画

全7時間（本時は6／7）

次	時	学習活動	評価			
			評価の観点		具体の評価規準	評価方法
			関	話言		
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いのモデル（役割を果たしている例）を見て気付いたことを出し合う。</li> <li>これまでの自分たちの話し合い活動を振り返り、課題を明確にし、話し合い名人になるための学習の見通しをもつ。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの話し合いから課題を明らかにし、よりよい話し合いに向けて意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付き、話し合いの中で適切な言葉で話している。</li> </ul>	ワークシート 発言 行動観察
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いのモデル（役割を果たしている例）を見て、提案者・参加者の話し合いの進め方や話し合いにおける役割を知る。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いにおける役割や、会議の話し合いの仕方を理解している。</li> </ul>	ワークシート 発言
二	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いのモデル（役割を果たしている例）を見て、司会の発言を考え、話し合いの進め方や話し合いにおける役割を知る。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いにおける役割や、会議の話し合いの仕方を理解している。</li> </ul>	ワークシート 発言
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの仕方で大げなことを役割ごとに確認し、全員が役割を交替して話し合いの練習をする。（4人グループ）4分×4回</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>役割に応じ、話し合いの目的や方向性を捉えて、互いの考えの共通点や相違点を整理して進行に沿って話し合っている。</li> </ul>	発言 話し合いメモ 行動観察
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの話し合いの様子を振り返り、お互いにアドバイスし合いながら話し合いの練習をする。（6人グループ）4分×3回</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>役割に応じ、話し合いの目的や方向性を捉えて、互いの考えの共通点や相違点を整理して進行に沿って話し合っている。</li> </ul>	発言 話し合いメモ 行動観察
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つのグループに分かれ、話題からそれぞれに話し合いが進行しているかに気を付けて話し合いを行う。（A、Bグループ）7分×2回</li> <li>話し合い名人への手引きを役割ごとにまとめる。</li> </ul> <p>【本時】</p>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>役割に応じ、話し合いの目的や方向性を捉えて、互いの考えの共通点や相違点を整理して進行に沿って話し合っている。</li> </ul>	発言 話し合いメモ 行動観察
三	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級会での話し合いをシミュレーションする。（学級全体）15分</li> <li>今後の話し合い活動に生かせるように意見をまとめる話し合いで大げなことをまとめる。</li> </ul>	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>司会を立てて話し合うことに意欲をもち、役割を分担しながら、問題解決に向けて協力して話し合おうとしている。</li> <li>役割に応じ、話し合いの目的や方向性を捉えて、互いの考えの共通点や相違点を整理して進行に沿って話し合っている。</li> </ul>	ワークシート 発言 話し合いメモ 行動観察

## 7 本時の展開

### (1) 本時の目標

互いの考えの共通点や相違点を考えながら、進行に沿って話し合うことができる。

### (2) 準備物

ビデオカメラ、スクリーン、プロジェクター（教師）

話し合いメモ、アドバイスシート（児童）

### (3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点（○） （●努力を要する児童への指導と手立て）	評価規準 (評価方法)
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>グループで話し合う様子を見てアドバイスし合い、よりよい意見にまとめるための話し合いにしよう。</p> </div> <p>2 話し合いのモデル（役割を果たしている例）における各役割の発言をもとに、自分たちの話し合いを振り返る際の評価の観点を確認する。</p> <p>3 グループで話し合う。</p> <p>① 「お楽しみ会のめあて」について話し合う。 (Aグループ7分)</p> <p>② Aグループの話し合いを聞く。 (Bグループ)</p> <p>4 Aグループの話し合いを振り返る。</p> <p>① 評価シートに記入したことをペアに伝える。</p> <p>② ビデオ記録をもとにクラスでAグループの話し合いを振り返る。</p> <p>③ 話し合いの良かったところ、直したらいいところを発表する。</p> <p>5 グループで話し合う。</p>	<p>○ 前時での振り返りで出た内容を伝えることで話し合いにおける改善点を意識させる。</p> <p>○ お互いにアドバイスし合えるように、話し合いのモデルを一旦停止しながら提示し、発言の内容とアドバイスシートの評価の観点と照らし合わせる。</p> <p>○ クラスを2つ（A・Bグループ）に分けて見る相手（ペア）を作っておき、お互いに話し合いの様子を見合うようにさせる。</p> <p>● 机間指導により、アドバイスシートと発言とを対応させる活動を補助する。</p> <p>○ 話し合いの様子を見る際に、評価シートに観点別に丸を付けるだけでなく、モニタリングする際に改善点が言えるように、どんな発言が出てきたかをメモさせるようにする。</p> <p>○ Bグループは、Aグループ</p>	<p>○ 役割に応じ、話し合いの目的や方向性を捉えて、互いの考えの共通点や相違点を整理して進行に沿って話し合っている。 (発言・発言メモ・アドバイスシート)</p>

<p>① 「お楽しみ会のめあて」について話し合う。 (Bグループ7分)</p> <p>② Bグループの話合いを聞く。 (Aグループ)</p> <p>6 話合いの振り返りを相互評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アドバイスシートに記入し、相手に伝える。</li> <li>○ 意見をまとめるための話合いで大切なことをまとめる。</li> </ul> <p>7 次時の学習の予告を聞く。</p>	<p>をモニタリングしたことを生かして、話し合うように確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 机間指導により、アドバイスシートと発言とを対応させる活動を補助する。</li> </ul> <p>○ めあてに対して、学んだことをワークシートに記入させる。</p>	<p>○ 役割に応じ、話合いの目的や方向性を捉えて、互いの考えの共通点や相違点を整理して進行に沿って話し合っている。</p> <p>(発言・発言メモ・アドバイスシート)</p>
--	--	--